

10 不注意等による事故を防ぐ

平成26年中に発生した全国の危険物施設における事故のうち、火災の61.1%、流出の31.6%が人的要因で起きています。

これは、保安全管理や確認が不十分であったり、操作方法を誤ったこと等により起こった事故です。

普段の作業をチェックして、危ない行為がないか確認しましょう。

1 危険物取扱いの注意点

- ① バルブ等の開閉はしっかり確認する。
- ② 面倒でも、ノズル等は元の場所にきちんと戻す。
- ③ アース等の必要な安全機材は、必ず使用する。

2 県内の事故事例

- ① 移動タンク貯蔵所から屋外タンク貯蔵所に灯油を荷卸しするところを、誤って重油を荷卸ししてしまった。(H27)
- ② 給油取扱所で給油をおこなう際、給油口へのノズルの差し込みが不十分であったため、自動停止が正常に機能せず、ガソリン約1リットルが流出した。(H27)
- ③ 給油取扱所の計量器の点検作業中、静電気により火災が発生した。ガソリン等の引火性の高い危険物を取り扱う作業にもかかわらず、点検業者はアースを使用していなかった。(H26)

※これぐらい大丈夫と思わずに、基本に忠実に作業を行いましょう。



静電気火花により発生した火災の事故例